

## 新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、  
ご利用いただきたくご案内いたします。  
当社におきましては、皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽  
を重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほど、  
よろしくお願い申し上げます。

敬 白

記

■ 実施日 平成 23 年 11 月 14 日（月）ご依頼分より

### ■新規項目内容一覧

項目コード	検査項目	検体量	容器	保存	所要日数	実施料 判断料	検査方法	基準値 (単位)	備考
6414 1	<b>倫理指針対象</b> ITPA 遺伝子多型 解析	血液 2.0 (EDTA- 2Na)	C	冷蔵	4~8		インバーダー プラス法		本項目は ITPA SNP である rs1127354 を解析します。 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに十分ご注意ください。 &コ

検体は採血後、当日中にご提出ください。

**倫理指針対象**：本項目は、生殖細胞系列遺伝子検査であり、ファーマコゲノミクス (PGx) 検査の指針に沿った運用を実施しております。弊社受託運用にご理解とご協力をお願いいたします。

## ● ITPA 遺伝子多型解析

C型肝炎治療の副作用を予測する検査として有用です。

ペグインターフェロンとリバビリンの併用療法は、日本人に最も多いジェノタイプ 1b 型、高ウイルス量の症例の治療効果を飛躍的に向上させ、現在 C 型肝炎の標準的な治療となっています。

しかし、リバビリンには貧血を誘発する副作用があり、重症化すると減量や中止など治療計画を見直す必要が生じています。

最近、アジア人に多く見られる ITPA 遺伝子多型が、2 剤併用療法に伴う貧血に対して抑制的に作用する、つまり、ITPA 遺伝子 rs1127354 の多型を有すると副作用の貧血を起こしにくく、野生型では貧血を起こしやすいことが分かってきました。

今後、テラプレビルを加えた 3 剤併用療法が、難治例に対し、より高い治療効果が期待される一方で、副作用である貧血が治療効果に大きく影響することが報告されています。そこで治療前に ITPA 遺伝子 rs1127354 の情報をもとに効果的な治療計画を立て、貧血の重症化を避けることが重要性を増してくると考えられます。

### ▼疾患との関連

- C型肝炎

### ▼報告形態

ITPA 遺伝子 rs1127354 (C→A) を解析し、以下のパターンにてご報告いたします。

C/C	Major タイプ
C/A	Hetero タイプ
A/A	Minor タイプ

### ▼検査要項

検査項目名	ITPA 遺伝子多型解析
項目コード No.	6414 1
検体量	血液 2.0 mL
容器	C (EDTA-2Na 入り)
保存方法	冷蔵保存してください。
所要日数	4~8日
検査方法	インバーダープラス法
基準値 (単位)	
実施料	未収載
判断料	未収載
備考	<p><b>倫理指針対象</b></p> <p>本項目は ITPA SNP である rs1127354 を解析します。 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに十分ご注意ください。 &amp;コ</p>

検体は採血後、当日中にご提出ください。

### ● 参考文献

Kiyoaki Ito, et al : Journal of Clinical Microbiology 49 (5) : 1853~1860, 2011.

(検査方法参考文献)

H Ochi, et al : Gastroenterology 139 : 1190~1197, 2010.